27 01 02 01 07 001

# 事務事業評価表

## 1．基本事項

作成日　平成24年08月09日(木)

| 事務事業 | 行財政改革推進事業 | 担当課 | 財政課 | 担当係 | 行革推進係 | 管理番号 | 2723 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合振興計画 基本戦略 | | 事業区分 | ■ 自治事務 | □ 法定受託事務 → | 対象拡大 | 有□ | |
| 総合振興計画 主要プロジェクト | | | | | サービス拡充 | 有□ | |
| 行政計画分野別施策名 大項目 | 000008 将来を見据えた都市経営＜協働・行財政＞ | 根拠法令個別計画等 | ・深谷市行財政改革大綱<br>・深谷市行財政改革推進計画（集中改革プラン） | | | | |
| 行政計画分野別施策名 中項目 | 000002 経営感覚を備えた行政運営 | | | | | | |
| 行政計画分野別施策名 小項目 | 000002 新しい行政経営の仕組みづくり | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 事業概要 | 平成１９年度から２１年度の３年で深谷市行財政改革大綱に基づく、行財政改革の各施策を行い、その進行管理を行った。その後も、継続して取り組むべき施策については、実施していく。また、各種研修への参加、先進自治体の調査研究を行い、有効な取組みについて実施を図るものである。 |
| 目的<br>※何のために | 本市の行財政改革を推進し、市民満足度の高い行政とするため |
| 対象<br>※誰・何を対象に | 市の事務事業、深谷市行財政改革推進計画（集中改革プラン）の各施策及び担当部署 |
| 手段<br>※どのように | 有効な行財政改革の取組みを随時実施する。 |
| 成果<br>※何を求めるか | 行財政改革推進計画の各施策の実施達成、行政サービス提供機会の拡充 |
| 執行体制 | ■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　） |

事務事業を構成する予算事業

| 会計区分 | 款 | | 項 | | 目 | | 細事業名 | 前年度決算額（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | 02 | 総務費 | 01 | 総務管理費 | 07 | 企画費 | 行政サービスセンター設置事業 | 530,565 |
| 一般会計 | 02 | 総務費 | 01 | 総務管理費 | 07 | 企画費 | 行財政改革推進事業 | 54,760 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |
| | 00 | | 00 | | 00 | | | 0 |

本事業の主な業務

| | |
|---|---|
| ・窓口業務の時間延長、週休日開庁の実施調整 | ・ |
| ・先進地視察等情報収集 | ・ |
| ・行財政改革推進本部会議の開催 | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

## 2．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

| 区分 | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度別計画 | | 行財政改革推進本部会議 | 行財政改革推進本部会議 | 事業仕分けの実施 | キララ上柴行政サービスセンターの設置 | | |
| 事業費 | 予算（現額） | 551,000 | 324,000 | 2,323,000 | 955,000 | 315,000 | 315,000 |
| | 決算額 | 127,740 | 106,730 | 1,586,811 | 585,325 | 0 | 0 |
| | 財源内訳 国支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 財源内訳 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 財源内訳 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 財源内訳 他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 財源内訳 一般財源 | 127,740 | 106,730 | 1,586,811 | 585,325 | 315,000 | 315,000 |
| 人件費 | 従事職員数(人) | 1.80 | 1.80 | 0.84 | 0.62 | 0.42 | 0.42 |
| | 人件費相当試算 ※1 | 15,174,036 | 14,603,283 | 6,479,760 | 4,767,800 | 3,317,580 | 3,317,580 |
| | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| (総事業費試算) | | 15,301,776 | 14,710,013 | 8,066,571 | 5,353,125 | 3,632,580 | 3,632,580 |

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

# 事務事業評価表

## 3．評価指標

| グラフ表示 | 区分 | 指標名 | | 単位 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 目標なし |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | | | | | | | |
| | | 実績値の出所・算出式 | | | | | | | | | |
| ■ | 活動指標１ | 木曜窓口延長の実施回数 | 目標値 | 回 | 51.00 | 50.00 | 52.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 51.00 | 50.00 | 46.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | 毎週木曜日の実施を基本とする。 | | | | | | |
| | | 実施回数 | | | | | 計画停電の休止あり | | | | |
| □ | 活動指標２ | 年度ごとの新たな行財政改革の取組み | 目標値 | 件 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 1.00 | 1.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | 毎年１件は新たな取組みを実施することを目標とした。 | | | | | | |
| | | 取り組んだ行財政改革施策 | | | | | 事業仕分け | 行政サービスセンター | | | |
| □ | 成果指標１ | 行財政改革推進計画各施策の達成率 | 目標値 | % | 30.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 13.00 | 80.00 | 100.00 | 100.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | 平成２１年度の計画期間に１００%達成を設定、達成できなかった取組は継続して実施 | | | | | | |
| | | 達成した施策数÷計画施策数 | | | | | | | | | |
| ■ | 成果指標２ | 木曜延長の利用件数 | 目標値 | 件 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 8,717.00 | 8,733.00 | 9,058.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | 延長時間にどれくらいニーズがあるか実証段階であり目標設定はない。 | | | | | | |
| | | 窓口＋電話＋現場の件数 | | | 8283+432+2 | 8241+491+1 | 8607+446+5 | | | | |
| □ | | | 目標値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| □ | | | 目標値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | □ |
| | | | 実績値 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 年度別目標値の設定根拠 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

## 4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

| | | |
|---|---|---|
| 活動<br>（意図した活動を行っているか） | B | 目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明<br>木曜窓口延長については、震災に関連し実施できない分で目標を下回ったが、やむを得ない理由と判断したい。また新たにキララ上柴に行政サービスセンターを設置し、窓口サービスの在り方について全庁的に考える機会を創出できたことは評価したい。このためＢ評価とした。 |
| 成果<br>（意図した成果が上がっているか） | B | 目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明<br>行革指針計画はＨ２１をもって計画期間を終了しているが、これについて未達成となっていた、補助金、使用料等の見直し、時代にあった組織改正、役割を終えた事務事業の廃止、公共施設の統廃合についての検討は、Ｈ２３年度までの期間で実施できたことから、特に重要な施策は達成はできたと考えられる。 |
| 効率性<br>（効率的に事務を行っているか） | － | 目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明<br>本事務事業自体が、他の事務事業の効率性に寄与する性格であることから、全庁的な効率性を図る指標について今後設定する。 |

| 評価者 | 行革推進係　橋本　剛 |
|---|---|

## 5．前年度改善改革プラン達成状況

| | |
|---|---|
| 前年度<br>改善・改革案 | キララ上柴の運用時間と、本庁舎開庁時間との整理。<br>総合窓口システムの研究 |
| 達成状況<br>及び<br>その効果 | キララ上柴行政サービスセンターについては、年度途中ではあるが１０月から実施できた。また、本庁開庁時間の整理により、木曜開庁のうち、利用者が極端に少ない箇所については実施を廃止し、事務の効率化に努めた。<br>総合窓口システムについては、市民課を中心に検討委員会を発足させ、平成２４年度に向けて実施の決定を行うことが出来た。 |

# 事務事業評価表



## 6．所属長評価（今後の方向性）

| 事務事業 | 行財政改革推進事業 | 担当課 | 財政課 | 担当係 | 行革推進係 | 管理番号 | 2723 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
■ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

**評価の内容説明**

困難課題であった、行革推進計画の各施策を達成できたことにより、今後は継続している施策について取りまとめを行う仕組みを構築する必要がある。新たな行革プランは総合振興計画のなかで扱うことで、本市の行革理念は引継がれていくため、総合振興計画の施策の進行管理をもとに行革の取り組み状況について評価を行っていくこととしたい。評価としては、行革推進計画を総合振興計画の中で効率的に管理することから効率化のための改善を選択した。

| 評価者 | 財政課長　吉岡　和弘 |
|---|---|

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

## 7．改善改革プランと今後の課題

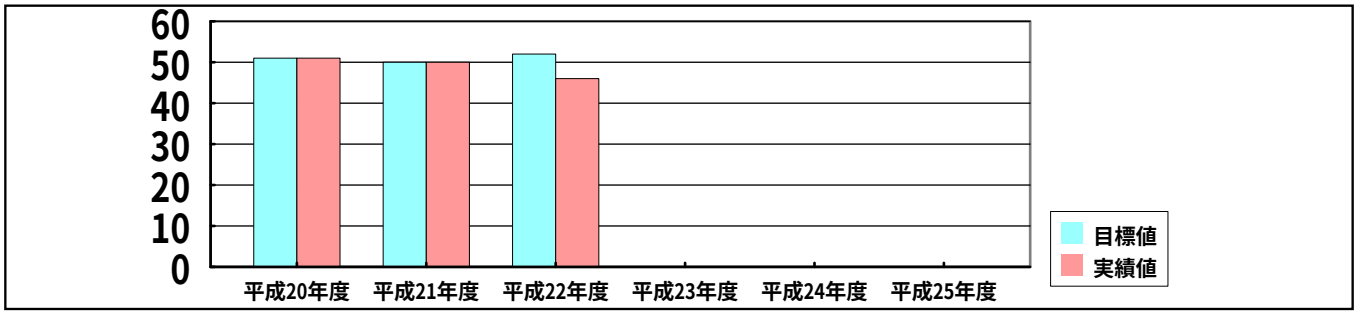
| 改善・改革案 | 現在の本事務事業の評価はおもに窓口業務の改善に焦点を当てていたが、総合振興計画後期基本計画の策定に併せて、全体的な行革の評価の視点を加えていく必要がある。後期計画の進捗に併せて行革としての位置付けで行う事務事業の取りまとめ作業を行い、その中で行政の守備範囲の見直しや窓口サービスの改善、自主財源確保の取り組み、受益者負担の見直しを進行管理できる仕組みを構築する。 |
|---|---|

## 8．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

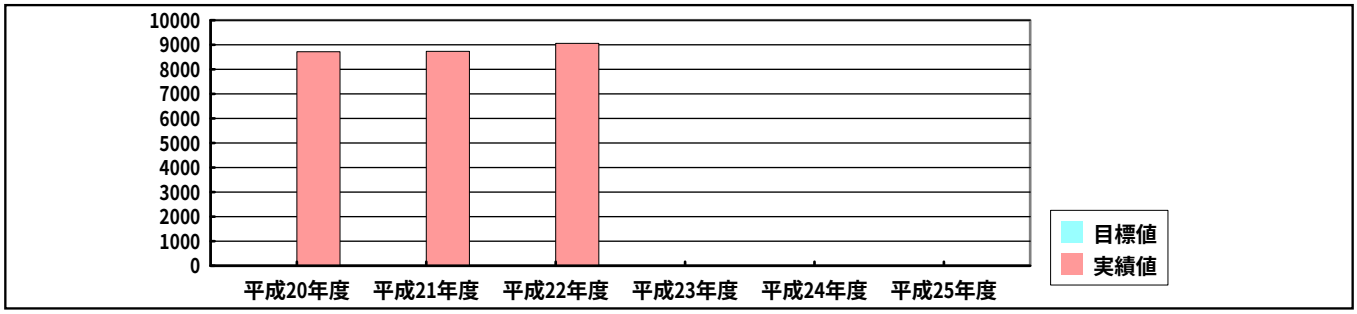
| 今後の課題 | |
|---|---|

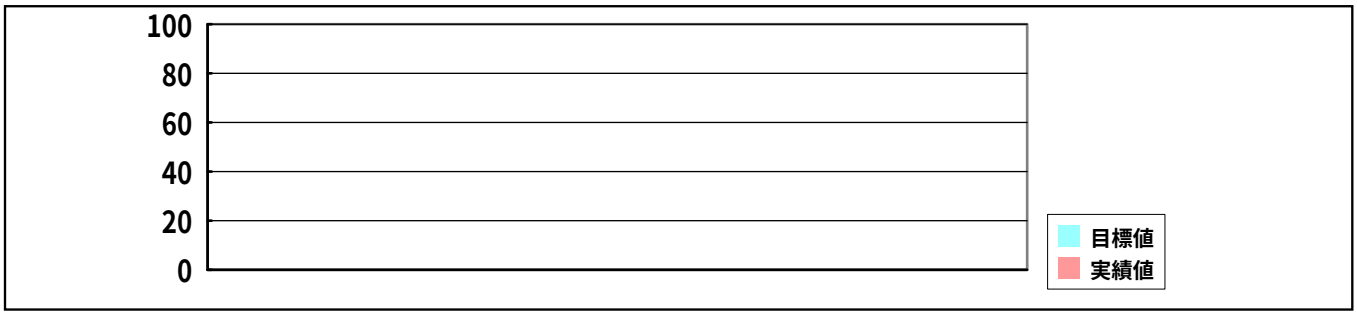
## 9．評価指標グラフ

| 区分 | 活動指標１ | 指標名 | 木曜窓口延長の実施回数 |
|---|---|---|---|




| 区分 | 成果指標２ | 指標名 | 木曜延長の利用件数 |
|---|---|---|---|




| 区分 | | 指標名 | |
|---|---|---|---|